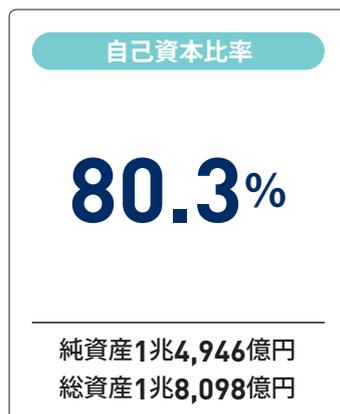
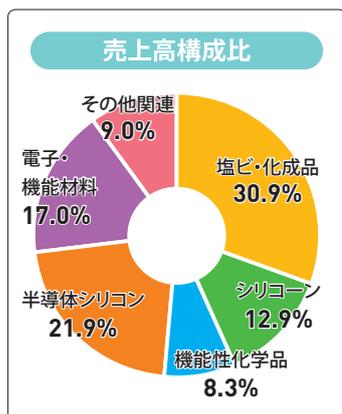
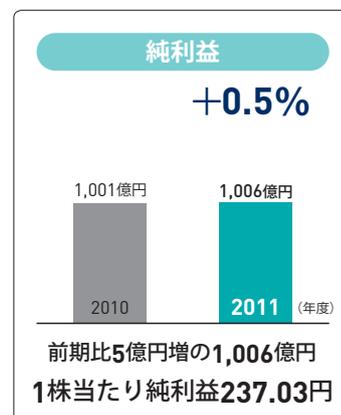
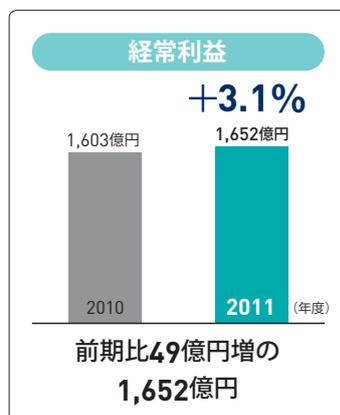
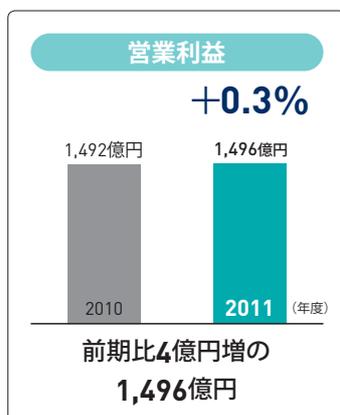
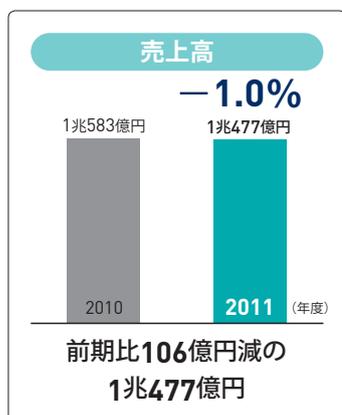


シンエツの見所



(ご参考：自己資本1兆4,534億円)

しんえつニュースクリップ

(2012年4月末時点 信越化学調べ)

世界の上場化学会社の中で5年連続トップの格付を維持

当社は世界の大手格付会社であるムーディーズより、2007年4月に世界の上場化学会社の中で最高のAa3という格付を付与され、それを維持しています。ムーディーズは、当社に対して評価の高い格付を維持している理由として、「強固な財務体質」、「強靱な^{きょうじん}バランスシートと優れた流動性」、「海外事業からの利益貢献も大きく、国内経済の減速の影響を受けにくい」などの点を挙げています。

順位	会社名	長期格付
1	信越化学工業(日)	Aa3
2	BASF (SE) (独) Monsant Company (米)	A1
3	Air Products and Chemicals, Inc. (米) 旭化成(日) E.I. Du pont de Nemours and Company (米) Praxair, Inc. (米) Sigma-Aldrich Corporation (米) Syngenta AG (スイス)	A2

「販売先行」で「積極投資」を行い、
「迅速な仕事」を積み重ね、
成長を目指してまいります。

当期の概況

当期の日本経済は、昨年3月11日に発生した東日本大震災に加え、タイの洪水や急激な円高の進行もあり、厳しい状況が続きました。また世界経済におきましても欧州での深刻な財政問題や、米国経済の回復の遅れなどにより、総じて不透明な状況となりました。

東日本大震災では、当社グループも当社鹿島工場（茨城県）および信越半導体（株）白河工場（福島県）が被災し、操業の停止を余儀なくされました。しかしグループの総力を挙げた取り組みにより、昨年6月末までに被災したすべての生産拠点の復旧が完了しました。

当社グループでは、このような不測の事態を含め事業推進の障害となりうる様々なリスクに備え、かねてより主要事業の生産拠点の分散化や、原料の長期的な安定確保に努めてまいりました。これらの取り組みにより、大震災などの影響を最小限に抑えるとともに、当期におきましても厳しい環境を乗り越え、増益を達成することができました。

第135期の業績と利益還元

当期の連結売上高は1兆477億3千1百万円（対前期比1.0%減）、連結営業利益1,496億3千2百万円（同0.3%増）、連結経常利益1,652億3千7百万円（同3.1%増）となり、増益を達成することができました。また、連結当期純利益は、1,006億4千3百万円（同0.5%増）となりました。

当社は長期的観点に立って、事業収益の拡大と企業体質の強化に注力し、その成果を株主の皆さまに適正に還元することを基本方針としています。これに基づき当期の年間配当は1株当たり100円とさせていただきます。

2012年度経営方針

当社グループは「**遵法に徹し公正な企業活動を行い、素材と技術を通じて暮らしや産業、社会に貢献する**」ことを**企業理念**としています。その実現に向け、常に最高水準の技術と品質を目指し、同時に絶え間ない生産性の向上に努めています。さらに、経済情勢や市況の変化に的確に対応できますよう、世界中の顧客と盤石な関係を築くことに注力してまいります。

また、近年厳しさを増す国際競争を勝ち抜くため、「強い営業」、「強い製造」、「強い研究開発」をさらに推し進め、2012年度は「販売先行」で「積極投資」を行い「迅速な仕事」を積み重ねながら成長を目指してまいります。



代表取締役会長



代表取締役社長

金川千尋 森俊三

事業の基盤強化と拡大に向けた取り組み

世界市場での競争力を一段と高めるため、各事業とも積極的な投資による事業基盤の強化と拡充を図っています。

シンテック社では、2011年夏に米国ルイジアナ州で塩ビ樹脂の原料からの一貫生産工場の増設が完了し、世界最大の塩ビ樹脂メーカーとしてより強固な体制を築くことができました。

半導体シリコン事業では、長年にわたり研鑽を重ねてきた技術力により、最先端の半導体デバイスに求められる高品質なウエハーの開発と生産に努めています。また、高い技術力が求められるフォトレジストやフォトマスクブランクスなどの半導体関連製品でも、顧客からの高度なご要望にお応えできる製品を速やかに開発し供給してまいります。

成長著しいアジア市場では、中国での光ファイバー用プリフォームとシリコンゴムの新工場での生産を開始し、旺盛な需要に応じてまいります。ベトナムでは、LED用パッケージ材料の工場を建設中で、今期中の完成を予定しています。

さらに、主に建材用塗料に使われるヒドロキシエチルセルロースの新工場を米国ルイジアナ州に建設することを決定するなど、拡大する需要を的確に捉えた設備投資を実施してまいります。

また、省エネルギーに貢献する希土類磁石事業では、積極的な販売を推し進めるとともに、中国とベトナムで原料工場の建設を進めるなど原料の安定確保のための対策も講じています。

以上のように既存の事業を強化していくと同時に、新規製品の研究開発にも力を注ぎ、製品の多様化に努めてまいります。

公正な企業活動の推進

遵法精神に則った公正な企業活動を徹底するため、内部統制システムを構築し、その厳格な運用に注力しています。同時に、社外取締役および社外監査役に独立した立場から経営を監督していただくことにより、経営の健全性と透明性の確保に努めています。

当社グループは、今後も**企業理念**を基本に据えた経営により、実績を積み重ねながら皆さまのご期待にお応えしていく所存です。株主、投資家の皆さまには一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年6月

代表取締役会長 金川千尋

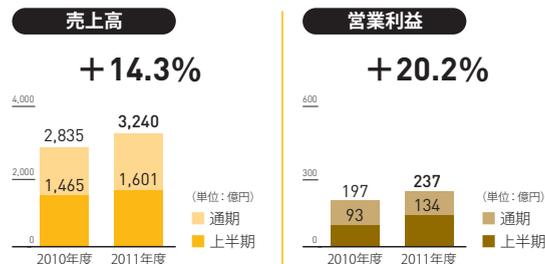
代表取締役社長 森 俊三

事業概況

塩ビ・化成品事業

- ◆ 米国シンテック社が世界中の顧客への拡販で高水準の出荷を継続し、業績を大きく伸長
- ◆ オランダのシエツPVC社も出荷が堅調
- ◆ 国内塩ビは震災による操業停止や需要低迷の影響で低調

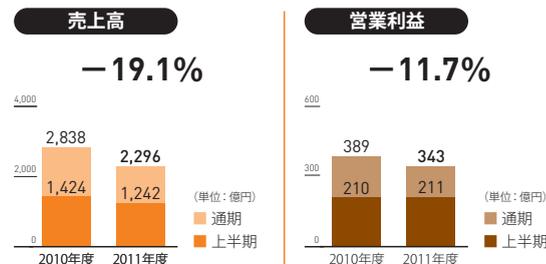
主要製品：塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン



半導体シリコン事業

- ◆ 上半期前半は信越半導体(株)白河工場が操業停止の影響を受けるも他拠点などの増産で対応
- ◆ 夏以降は電子機器市場の低迷によりウエハー需要が低調

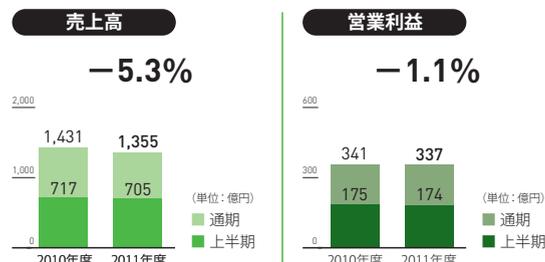
主要製品：半導体シリコン



シリコン事業

- ◆ 国内販売の上半期は、電子機器向け、化粧品向けを中心に堅調、下半期は総じて低調の中、自動車向けが回復
- ◆ 海外は、中国などのアジア地域で汎用品の価格が低迷

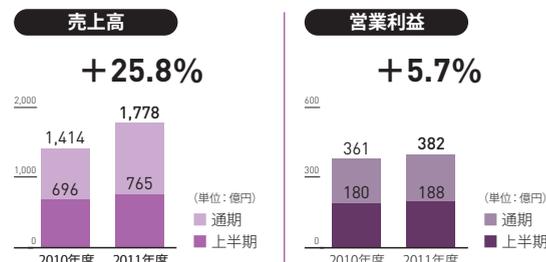
主要製品：シリコーン



電子・機能材料事業

- ◆ 希土類磁石は自動車向けなどへの拡販で好調
- ◆ フォトレジストは半導体デバイスの微細化進展で堅調
- ◆ 高輝度LED用パッケージ材料の出荷も堅調
- ◆ 光ファイバー用プリフォームは震災による操業停止の影響を受けるも復旧後は底堅い出荷を継続

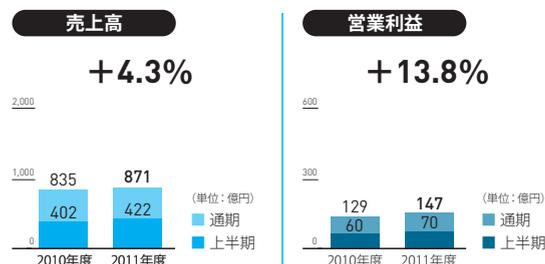
主要製品：希土類磁石(電子産業用・一般用)、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル



機能性化学品事業

- ◆ 国内のセルロース誘導体は医薬用や工業用が堅調
- ◆ 海外のセルロース誘導体は建材用の需要が回復
- ◆ 金属珪素の市況上昇も収益に寄与

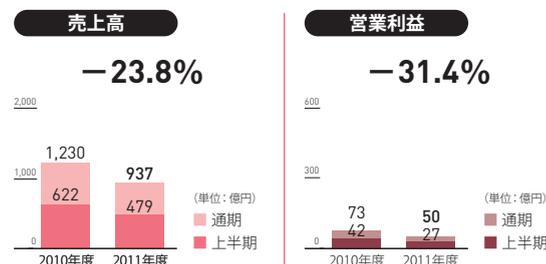
主要製品：セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン



その他関連事業

- ◆ 信越ポリマー(株)の携帯電話用キーパッドはタッチパネル式スマートフォンの急速な普及により需要が大幅に減少、ウエハー容器は半導体デバイス需要の低迷で低調

主要製品：樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング



特集：安定した成長への布石 ～シンエツの将来を見据えた投資～

信越グループは、需要動向を見据えた設備投資を通じて世界トップシェア製品を生み出してきました。さらなる安定成長への布石として、原料に遡っての生産体制の拡充とともにアジアをはじめとする成長市場での販路の開拓と生産体制の構築を行っています。

世界トップシェアの主力製品を擁する信越グループの未来を「原料調達が多角化によるリスクの軽減」と「成長市場への展開」の両面からご紹介します。

シンテック社 塩ビの原料からの一貫生産体制が完成 原料調達が多角化によるリスクの軽減

原料調達の安定化を図り、増大する世界需要に対応

世界最大の塩ビメーカーである米国シンテック社では、2011年夏に塩ビの原料である塩化ビニルモノマー（VCM）の工場が完成し、VCMの生産能力は年間160万トンとなりました。

これにより、原料の自社生産比率が高まり、増大する塩ビの世界需要に応えるための安定供給体制が強化されました。

● 米国シンテック社の原料からの一貫生産体制

ポイント1 豊富な出発原料

米国では、岩塩や天然ガスが豊富に埋蔵されているため、競争力のある原料を安定的に調達することができます。

ポイント2 併産品も販売

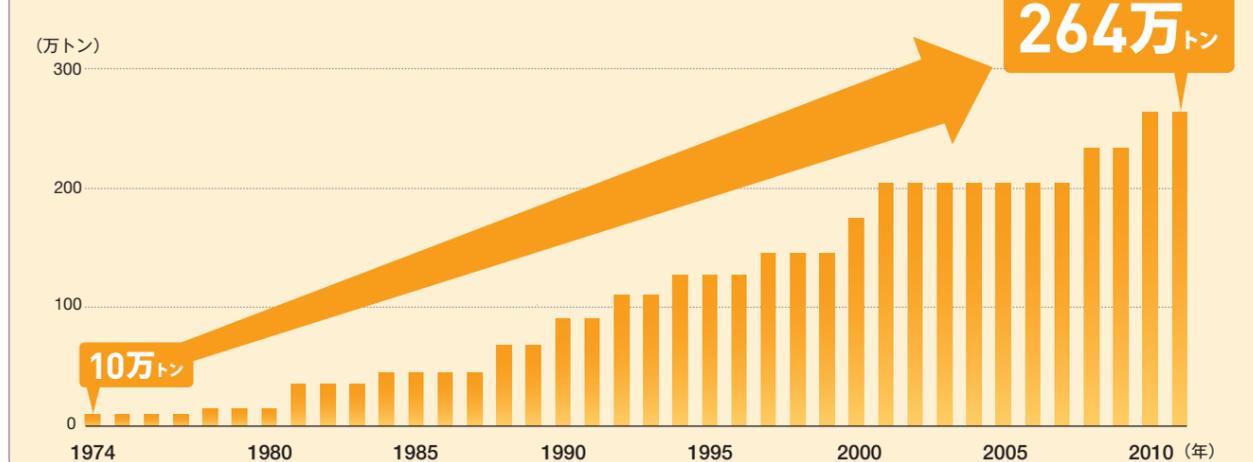
生産過程で生成されるか性ソーダが販売品目に加わりました。（か性ソーダは基礎化学品として幅広い産業分野で使われています。）



ポイント3 原料の自社生産

これまで外部調達していた塩ビモノマーの内部生産比率が高まりました。

ポイント4 米国シンテック社の生産能力の推移 (1974年10月17日製造開始)



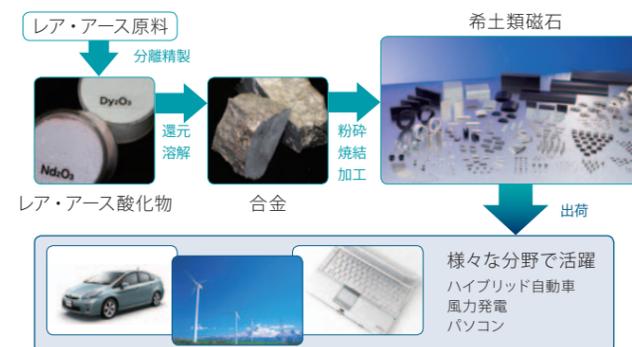
レア・アース原料の調達多角化へ

原料調達の多角化によるリスクの軽減

中国とベトナムに拠点設置

各種モータや省エネ関連分野に多用される希土類磁石の原材料となるレア・アースの安定調達を実現するため、中国に中間原料の磁石用合金の生産を担う新会社を設立し、2013年1月の稼働を予定しています。さらに、ベトナムにおいて、2013年2月に稼働予定のレア・アースの分離精製工場の建設を進めています。レア・アースの効率利用と併せ、原料調達の多角化による製品の安定供給体制の強化を目指します。

● 希土類磁石の生産工程



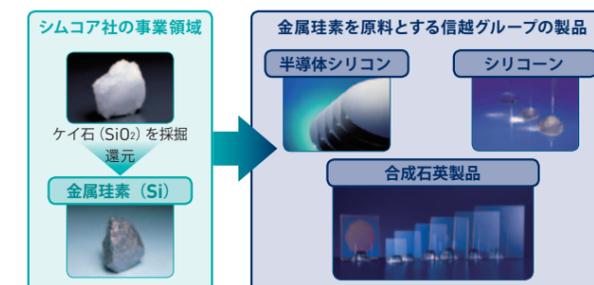
シムコア社 金属珪素の生産能力を増強

原料調達の多角化によるリスクの軽減

主力製品の原料を強化

オーストラリアのシムコア社は、金属珪素の生産能力を現状の年間32,000トンから、年間48,000トンに増強する工事を進めています。金属珪素は、アルミの強度を高める材料としても多く使われますが、信越化学の主要製品である半導体シリコン、シリコン、合成石英、そして世界的に普及が期待される太陽電池の主原料であり、金属珪素の生産を強化することで、さらなる需要の伸びに対応していきます。

● 信越グループの主要製品の原材料となる金属珪素

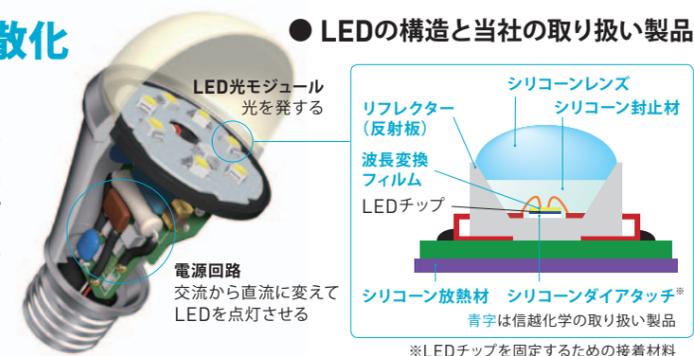


ベトナムでLED用パッケージ材料を生産

成長市場への展開

世界一の事業の生産拠点を分散化

信越化学は、高輝度LED用パッケージ材料の生産拠点を新たにベトナムに設立し、2013年3月の稼働を目指し工場の建設を進めています。従来の群馬事業所と併せた生産拠点の複数化により、高輝度LED用パッケージ材料のトップメーカーとしての地位をさらに盤石にし、需要の伸びが見込まれる次世代照明市場や、大きな成長を遂げるアジア市場の獲得に取り組んでいきます。



中国で2事業の工場を建設

成長市場への展開

需要地直結の生産体制を構築

信越化学は、中国における光ファイバー用プリフォームとシリコンゴムの工場の稼働を2012年度に開始します。需要地に直結した生産と販売体制の構築により、世界市場のけん引役として大きな成長が見込まれる中国を中心としたアジア市場を取り込み、各製品の事業拡大を図っていきます。



会社概要 (2012年3月31日現在)

商号：信越化学工業株式会社
 設立：1926年9月16日
 資本金：119,419,688,785円
 本社：〒100-0004
 東京都千代田区大手町
 二丁目6番1号
 電話：03 (3246) 5091
 URL：http://www.shinetsu.co.jp/j/
 従業員数：16,167名 (連結)

役員 (2012年6月28日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ*1	常勤監査役	岡田 理
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資*1	監査役	渡瀬 昌彦
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅*1		福井 琢*2
	斉藤 恭彦		福井 俊彦*1		小坂 義人*2
代表取締役専務	小野 義昭		小宮山 宏*1		永野 紀吉*2
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀		
	高杉 晃司		荒井 文男		*1 社外取締役
	石原 俊信		笠原 俊幸		*2 社外監査役
	轟 正彦		小根澤 英徳		
	秋本 俊哉		中村 健		
			松井 幸博		
			岡本 博明		

株式の状況 (2012年3月31日現在)

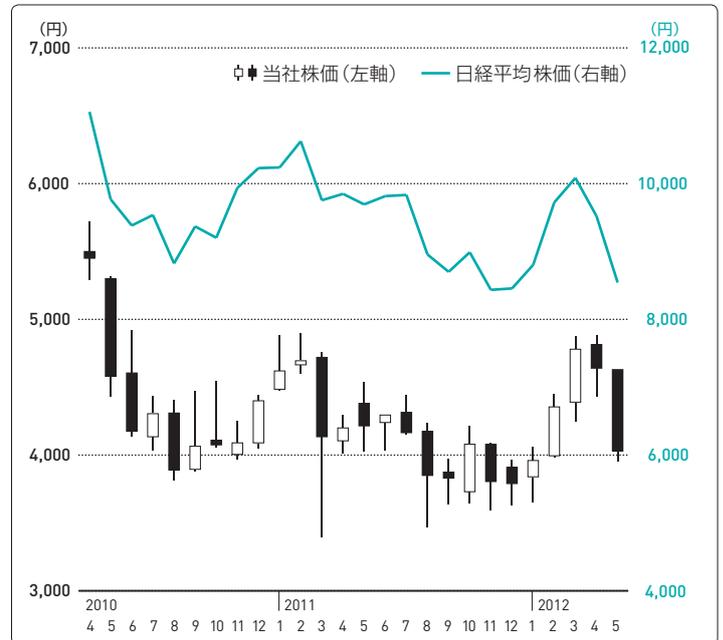
発行する株式の総数：1,720,000,000 株
 発行済株式総数：432,106,693 株
 (注) 自己株式7,512,807株が含まれております。
 株主の総数：67,762 名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	33,953	8.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	32,403	7.6
日本生命保険相互会社	24,370	5.7
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	11,696	2.8
明治安田生命保険相互会社	10,962	2.6
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	9,249	2.2
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	6,411	1.5
メロンバンク エヌエーアズ エージェント フォー イッツ クライアント メロンオムニバスユーエスベンション	6,309	1.5
日本興亜損害保険株式会社	5,777	1.4

(注) 当社は、自己株式7,512,807株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
 期末配当受領株主確定日：3月31日
 中間配当受領株主確定日：9月30日
 定時株主総会：毎年6月
 公告掲載方法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
 (http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 単元株式数：100株
 上場証券取引所：東京・大阪・名古屋
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等 にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	